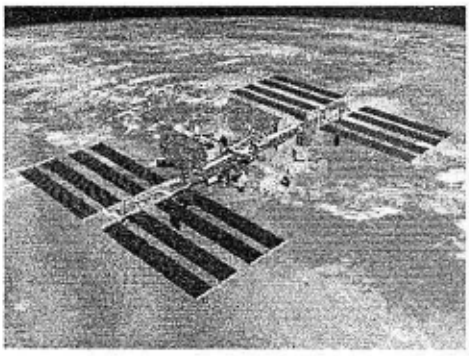
No.360

宇宙旅行はいかが？



国際宇宙ステーション完成予想図

（画像提供：NASA）

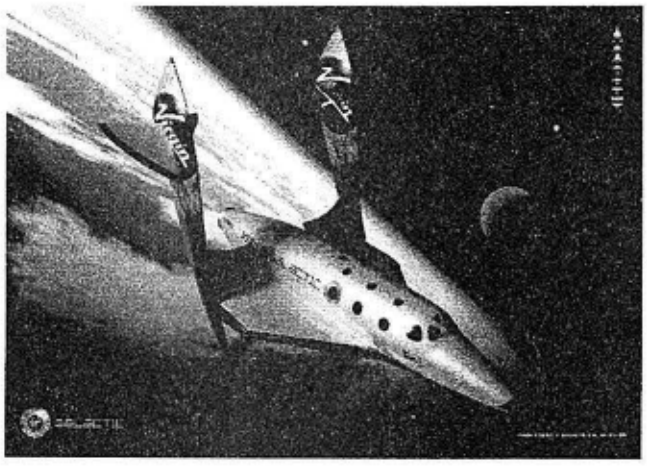
皆さんは「国際宇宙ステーション」をもう知っていますか？今まさに組み立てているところで、日本の実験室「きぼう」もいよいよ打ち上げをむかえました。宇宙飛行士の土井隆雄さんと星出彰彦さんがこの組み立ての仕事をしに宇宙へ行きますし、若田光一さんが国際宇宙ステーションに長くとどまって、宇宙での仕事をしてくる予定です。

彼らは日本の宇宙開発の中心であるＪＡＸＡ（宇宙航空研究開発機構）の宇宙飛行士です。たくさんの勉強と訓練をかさね、宇宙旅行や宇宙での生活、そして地上の私たちや地球の未来のため、宇宙で様々な仕事をします。宇宙飛行士になりたいという人はとても多く、1999年に3人の宇宙飛行士の候補がえらばれたときには、800人以上の応募があったそうです。

では、そんな特別な人でなければ宇宙へ行けないのでしょうか？　現在は技術の進歩で、体力とお金があれば宇宙へ行ける時代になりました。

今、世界で最も安心して乗ることのできる宇宙船を持つ国はロシアだ、と言ってよいでしょう。ロシアの宇宙船「ソユーズ」は、安定して国際宇宙ステーションへ人や荷物を運んでいます。そのソユーズにいっしょに乗っていき、国際宇宙ステーションで一週間ほど宇宙生活を体験してくるツアーがあるのです。値段は一人2500万ドル（約27億円）程度。追加料金を払えば宇宙遊泳もできるそうです。

まだ実現はしていませんが、高度100kmというそれほど高くない宇宙空間へ行き、5分間くらいの無重量体験をしながら、広大な宇宙やその中にうかぶ地球をながめて来るツアーが計画されています。ヴァージン・ギャラクティック社によると、宇宙船は早ければ今年中に完成して、来年からツアーを開始するとのこと。料金は一人20万ドル（約2100万円）。5分間の“夢”を見てくるといったところかもしれません。また、先に紹介した国際宇宙ステーションへの宇宙旅行を行っている会社（スペースアドベンチャーズ社）も、同じようなツアーを計画しています。さらに月へ行く計画（1億ドル=約110億円）もあるそうです。



開発中の新型宇宙船

（ヴァージン・ギャラクティック社ウェブサイトより）

お値段はとても高いですが、いつかはもっと手軽に宇宙へ行けるようになるのでしょうね。

（2008年2月20日　林　忠史）